

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社コマースOneホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4496 URL <https://www.cm-one.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡本 高彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 清水 究 (TEL) 03 (6261) 6677
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,924	6.3	314	△36.5	393	18.2	269	109.6
2025年3月期第3四半期	2,752	4.7	495	11.0	333	△33.0	128	△59.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 330百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 24百万円(△93.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	38.09	—
2025年3月期第3四半期	17.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,610	2,658	73.3
2025年3月期	3,471	2,523	72.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,647百万円 2025年3月期 2,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,387	18.8	665	4.2	673	59.0	485	429.6	68.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 3社(社名) 株式会社コマースコネクト
株式会社PINES、除外 1社(社名) 株式会社Newrona

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	7,193,400株	2025年3月期	7,193,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	155,449株	2025年3月期	76,349株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	7,076,234株	2025年3月期3Q	7,179,391株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、主にEC事業者のためのビジネスインフラとなるECプラットフォームを提供する企業グループとして事業活動を行っております。当社グループの主要な事業領域となる、国内EC市場は、販売商品の多様化、市場参加者の増加、物流事業者による配達時間の大幅な短縮化、SNSによる情報流通量の増加等を背景に継続的な成長を遂げてまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急成長した国内EC市場は、経済活動が正常化するにつれて、成長が緩やかになりましたが着実に成長を続けております。消費者においては、新たなライフスタイルやワークスタイルの定着も見られ、時流に沿ったビジネス展開が求められるようになりました。このような変化の激しい市場で課題を抱える事業者を支援するため、当社グループでは、店舗売上の向上につながるオプション・アライアンスサービスの拡充やECコンサルティング事業への参入、ソーシャルメディア（SNS）とECを組み合わせたソーシャルコマースへの対応、バックオフィスの業務効率化につながる、生成AIを活用したソリューションの展開などにより事業領域を拡大しております。また、生成AIの利用拡大にともない増大する電力消費によるエネルギー不足や、化石燃料の利用に伴う地球温暖化等の環境課題に対応するため、当社はグループ企業の独自技術を活用したソリューションを開発し、グローバルで展開するために環境エネルギー事業へ開発投資を始めております。当社グループは、ECプラットフォーム事業並びに環境エネルギー事業に関連する事業領域を積極的に拡大しながら「テクノロジーを活用する人の力を最大化させるプラットフォーム」であることを目指しています。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間において当社グループは、市場成長に伴う売上高の確保を目指すとともに、今後の市場環境に適応し事業領域を拡大するべく、成長投資を積極的に行いました。

<ECプラットフォーム事業：株式会社フューチャーショップ>

「futureshop」を提供する株式会社フューチャーショップは、「futureshop」の機能向上を実施、利便性向上のため、オプション・アライアンスサービスの拡充など、EC事業者の成長を支援する機能向上やサービスの拡充を引き続き行いました。2025年11月にはグループ会社の株式会社空色と連携し、従来のレビュー機能を大幅に強化した「future Review」をリリースしました。このような成長投資のもと、売上高は堅調に推移し対前年同期比では増収となりましたが、事業領域の拡大を目的とした人材採用の強化や、新規事業関連の開発をおこなったため、販管費が増加し営業利益は対前年同期比にて減益となりました。

<ECプラットフォーム事業：株式会社ソフトル>

「通販する蔵」を提供する株式会社ソフトルは、顧客ニーズの高いカスタマイズ案件を重点的に提案しました。一方で当第3四半期連結累計期間では大手モールの仕様変更による保守工数の増大と、これに伴うエンジニアコストが増加したものの、前年同期において一時的に発生した、大規模案件におけるエンジニアコスト増加による影響の反動から収益率が改善し、対前年同期比では増収増益となりました。

<ECプラットフォーム事業：その他>

2025年4月に設立した株式会社コマースコネクにて、株式会社ソフトルが提供する「通販する蔵」のノウハウを生かし、AIを活用した次世代の受発注や在庫の一元管理機能を持つ、統合型ECプラットフォームの開発を進めております。

<環境エネルギー事業>

株式会社コマースOneホールディングスでは、エストニア発のクライメートテック企業である Carbontribe Labs OÜと提携し、Carbontribe Labs OÜの AI・ブロックチェーン技術を、グループ会社のエネサイクル株式会社が保有するバイオ炭製造技術に適用し「デジタルバイオ炭方法論」として、バイオ炭由来の脱炭素価値を国際的に証明可能な形式で可視化・資産化する方法論を開発しました。

なお、当社グループの事業セグメントは、ECプラットフォーム事業及びその他の事業であります。その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績及び主要な連結子会社の業績は、下表のとおりとなりました。

〈連結業績〉

(単位：千円)

	2025年3月期 第3四半期 (累計)	2026年3月期 第3四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	2,752,305	2,924,546	172,241	6.3
EBITDA	589,687	425,675	△164,011	△27.8
営業利益	495,384	314,607	△180,776	△36.5
経常利益	333,301	393,991	60,689	18.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,567	269,537	140,969	109.6

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

〈主要な連結子会社の業績〉

(単位：千円)

		2025年3月期 第3四半期 (累計)	2026年3月期 第3四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
(株)フューチャーショップ	売上高	2,062,984	2,127,209	64,224	3.1
	営業利益	645,514	537,129	△108,385	△16.8
(株)ソフテル	売上高	629,072	671,202	42,130	6.7
	営業利益	39,130	67,424	28,294	72.3

※当社の連結子会社でありましたSAMURAI TECHNOLOGY(株)は2025年1月1日をもって(株)ソフテルが吸収合併しているため、(株)ソフテルの売上高及び営業利益は、2025年3月期期首に合併が行われたと仮定して算出しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産につきましては、3,610,477千円となり、前連結会計年度末に比べ138,954千円増加いたしました。流動資産は2,362,101千円となり、前連結会計年度末に比べ16,968千円減少いたしました。これは、主に子会社株式の取得により現金及び預金が153,276千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,248,376千円となり、前連結会計年度末に比べ155,922千円増加いたしました。これは、主に株式会社PINESの新規取得によりのれんが71,792千円増加したことや保有する台湾株式の時価上昇等により投資有価証券が65,311千円増加したことによるものであります。

負債につきましては、952,452千円となり、前連結会計年度末に比べ4,145千円増加いたしました。これは、主に台湾株式の時価上昇等に伴い繰延税金負債が5,960千円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、2,658,024千円となり、前連結会計年度末に比べ134,809千円増加いたしました。これは主に配当金の支払いや自己株式の取得があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことや台湾株式の時価上昇等によりその他有価証券評価差額金が63,656千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.7%から73.3%となりました。

なお、当社は、ECプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて153,276千円減少し、1,710,883千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は142,645千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益469,318千円、減価償却費92,643千円、投資有価証券売却益75,326千円、前払費用の増加額21,924千円、前受金の減少額40,308千円及び法人税等の支払額250,123千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は109,105千円となりました。

これは主に株式会社フューチャーショップ及び新規設立の株式会社コマースコネクトにおける新機能等のソフトウェア開発に係る無形固定資産取得による支出103,248千円や株式会社PINESに対する子会社株式の取得による支出89,182千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は205,977千円となりました。

これは主に配当金の支払額141,758千円及び自己株式の取得による支出63,931千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、前期決算短信発表時（2025年5月14日）に公表しました通期業績予想数値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,864,160	1,710,883
売掛金及び契約資産	291,499	315,288
仕掛品	6,273	9,992
前払費用	92,624	116,659
預け金	18,598	4,090
その他	107,053	206,326
貸倒引当金	△1,141	△1,139
流動資産合計	2,379,069	2,362,101
固定資産		
有形固定資産	129,931	123,261
無形固定資産		
のれん	12,422	84,214
その他	280,337	312,575
無形固定資産合計	292,760	396,790
投資その他の資産		
投資有価証券	443,689	509,001
その他	227,816	221,468
貸倒引当金	△1,744	△2,145
投資その他の資産合計	669,761	728,324
固定資産合計	1,092,453	1,248,376
資産合計	3,471,522	3,610,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,240	38,870
短期借入金	48,956	58,287
前受金	421,586	381,277
未払法人税等	120,336	81,475
その他	225,448	294,465
流動負債合計	852,566	854,376
固定負債		
長期借入金	5,482	3,340
繰延税金負債	15,152	21,112
資産除去債務	52,880	54,499
その他	22,225	19,123
固定負債合計	95,740	98,075
負債合計	948,307	952,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,400	210,400
資本剰余金	160,400	156,745
利益剰余金	2,035,765	2,163,491
自己株式	△57,243	△120,793
株主資本合計	2,349,322	2,409,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,893	237,550
その他の包括利益累計額合計	173,893	237,550
非支配株主持分	-	10,631
純資産合計	2,523,215	2,658,024
負債純資産合計	3,471,522	3,610,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,752,305	2,924,546
売上原価	1,192,318	1,302,968
売上総利益	1,559,986	1,621,577
販売費及び一般管理費	1,064,601	1,306,970
営業利益	495,384	314,607
営業外収益		
受取利息	147	1,500
受取配当金	24,305	18,957
為替差益	2,940	19,018
受取手数料	-	27,729
その他	4,740	13,126
営業外収益合計	32,133	80,331
営業外費用		
支払利息	141	401
持分法による投資損失	193,050	-
その他	1,025	546
営業外費用合計	194,216	948
経常利益	333,301	393,991
特別利益		
投資有価証券売却益	6,176	75,326
特別利益合計	6,176	75,326
特別損失		
減損損失	1,193	-
固定資産除却損	3,317	-
特別損失合計	4,511	-
税金等調整前四半期純利益	334,967	469,318
法人税、住民税及び事業税	193,638	213,582
法人税等調整額	12,761	△11,259
法人税等合計	206,399	202,323
四半期純利益	128,567	266,994
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,567	269,537

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	128,567	266,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104,518	63,656
その他の包括利益合計	△104,518	63,656
四半期包括利益	24,049	330,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,049	333,194
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△2,543

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	334,967	469,318
減価償却費	94,302	92,643
減損損失	1,193	-
のれん償却額	-	18,423
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,594	393
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,107	-
受取利息及び受取配当金	△24,452	△20,457
支払利息	141	401
持分法による投資損益(△は益)	193,050	-
為替差損益(△は益)	△3,078	△19,414
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,176	△75,326
固定資産除却損	3,317	0
売上債権の増減額(△は増加)	△4,324	△23,178
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,353	△3,718
前払費用の増減額(△は増加)	△13,307	△21,924
仕入債務の増減額(△は減少)	1,674	1,138
前受金の増減額(△は減少)	△152	△40,308
預け金の増減額(△は増加)	△33,700	14,508
その他	△46,351	△19,785
小計	486,047	372,712
利息及び配当金の受取額	24,452	20,457
利息の支払額	△141	△401
法人税等の支払額	△261,434	△250,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,924	142,645
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,315	△3,664
無形固定資産の取得による支出	△90,413	△103,248
投資有価証券の売却による収入	8,828	79,066
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,974	△89,182
資産除去債務の履行による支出	△7,009	-
敷金及び保証金の差入による支出	△35,762	-
敷金及び保証金の回収による収入	19,012	7,257
その他	895	665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,738	△109,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600	8,205
長期借入金の返済による支出	-	△2,142
リース債務の返済による支出	△2,705	△2,697
自己株式の取得による支出	△41,782	△63,931
配当金の支払額	△150,590	△141,758
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△3,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,679	△205,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,182	19,161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△102,310	△153,276
現金及び現金同等物の期首残高	1,733,879	1,864,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,569	1,710,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、2024年8月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式30,000株の取得を行っております。また、2024年11月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式26,100株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が41,533千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が41,570千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社は、2025年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式52,900株の取得を行っております。また、2025年9月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式14,700株の取得を行っており、2025年11月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式11,500株の取得を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が63,549千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が120,793千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、ECプラットフォーム事業及びその他の事業であります。その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、2025年11月25日以降、自己株式を取得しております。

1. 自己株式の取得を行う理由

中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)において掲げる財務戦略に基づき、当社における戦略的な投資機会、財務状況や株価水準等を総合的に勘案して、機動的な自己株式取得を行います。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

①取得する株式の種類	当社普通株式
②取得する株式の総数	50,000株(上限)
③株式の取得価額の総額	45,000,000円(上限)
④取得期間	2025年11月25日～2026年5月14日
⑤取得方法	取引一任契約に基づく市場買付

3. 第3四半期決算短信提出日の属する月の前月末現在における自己株式の取得状況

- ① 取締役会決議に基づき2025年11月25日から2025年12月31日までに取得した自己株式

取得した株式の総数	11,500株
株式の取得価額の総額	9,148,200円
- ② 取締役会決議に基づき2026年1月1日から2026年1月31日までに取得した自己株式

取得した株式の総数	9,800株
株式の取得価額の総額	7,891,700円
- ③ 2026年2月1日以降に取得する予定の自己株式の金額(上限)

27,960,100円
